

事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和 8年度

部局名 防災安全部

所属名 県民安全課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
安全で安心な地域社会づくり事業	16 防災・治安先進県ふくいの実現	政策的経費	令和元年度	令和8年度	18,713	—	14,145		4,568	継続
㊦交通事故防止対策事業	16 防災・治安先進県ふくいの実現	政策的経費	令和6年度	令和8年度	31,509	—	3,758		27,751	拡充
消費者被害防止事業	16 防災・治安先進県ふくいの実現	政策的経費	令和7年度	令和9年度	1,926	—	963		963	縮減
消費生活相談体制の充実・強化事業	16 防災・治安先進県ふくいの実現	政策的経費	令和7年度	令和9年度	2,009	—	100		1,909	縮減
㊦消費者教育推進事業	16 防災・治安先進県ふくいの実現	政策的経費	令和7年度	令和9年度	6,093	—	2,675		3,418	拡充
㊦環境や社会に配慮した消費行動・生産活動の促進事業	16 防災・治安先進県ふくいの実現	政策的経費	令和7年度	令和9年度	2,365	—	1,182		1,183	拡充
消費者行政活性化補助金	16 防災・治安先進県ふくいの実現	政策的経費	平成21年度	令和8年度	16,860	—	16,860			継続
青少年愛護条例改正に伴う啓発事業	16 防災・治安先進県ふくいの実現	政策的経費	令和7年度	令和7年度	/	—	/	/	/	完了
家族で学ぶインターネットの安全活用推進事業	16 防災・治安先進県ふくいの実現	政策的経費	令和5年度	令和7年度	/	—	/	/	/	整理統合
交通安全意識向上強化事業	16 防災・治安先進県ふくいの実現	政策的経費	令和7年度	令和7年度	/	—	/	/	/	廃止
					79,475		39,683		39,792	

		防災安全部	県民安全課	事業年度	令和 8年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
16 防災・治安先進県ふくいの実現				事業開始年度	令和元年度
安全で安心な地域社会づくり事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	P T A、地域住民、事業所等が一体となった見守りや防犯インフラの整備に対する支援、各市町の安全安心センターによる地域の安全点検の実施等により、犯罪の起こりにくい安全で安心な地域社会づくりを推進する。				
事業内容	(1) 小中学生に対する見守り活動等に対する支援 (2) 防犯インフラの整備に対する支援 (3) 地域の安全点検および情報提供の実施（各市町安全安心センターに委託）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	18,713	—	14,145		4,568
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	声かけ事案等の件数	148件	137件	令和7年（暦年）
	活動指標	防犯インフラ整備支援地区数（累計）	90地区	114地区	令和7年度
事業評価	<p>小中学校の見守り活動や地域の防犯インフラ整備への支援、地域の安全点検を実施することで地域の自主防犯力の向上を図った。さらに、「夕方見守り運動協力店」を募集し、地域全体の見守りの目を増やした。その結果、声かけ事案等の発生件数は前年比で11件減少し、成果指標目標を達成した。</p> <p><事業実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯インフラ設置支援台数 114地区265台（累計）※令和7年度見込 「夕方見守り運動協力店」登録店舗数 1,842店舗（累計）※令和8年2月末時点 				
区分	継続				

		防災安全部	県民安全課	事業年度	令和8年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
16 防災・治安先進県ふくいの実現				事業開始年度	令和6年度
④ 交通事故防止対策事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	『安全・安心ふくいプログラム2025-2026』で掲げた「年間交通事故死者数20人以下」という目標達成に向け、警察や市町、関係機関と連携し、横断歩道対策や高齢者対策など、交通事故防止対策を実施し、交通事故死者数の減少を図る。				
事業内容	(1) 横断歩道de歩行者ファーストキャンペーン（ダイヤモンドを活用した広報啓発） (2) 反射材の着用促進 (3) 後期高齢運転者を対象とした免許返納・無事故無違反キャンペーンの実施 (4) 交通死亡事故統廃防止のための広報啓発 等				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	31,509	—	3,758		27,751
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	交通死亡事故死者数	20人以下	21人	令和7年（暦年）
	活動指標	「横断歩道de歩行者ファーストキャンペーン」 賛同事業所新規登録数	50事業所	51事業所	令和7年度
事業評価	<p>手上げ横断を促す路面シートの設置等を行い、信号のない横断歩道での停止率向上を目指した。また、高齢者に対する自動車の安全運転サポート機能の導入支援や反射材の着用促進等を実施し、交通事故の防止を図った。</p> <p><成果指標の目標未達成における事業による要因> 後期高齢運転者への交通安全運転意識の向上や免許返納の促進が不十分であったため。</p> <p><成果指標の目標未達成における外的要因> 特に事故を起こすリスクが高い後期高齢運転者が増加しているため。</p> <p><事業実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 「横断歩道de歩行者ファーストキャンペーン」賛同事業所新規登録数 10市町51事業所 手上げ横断を促す路面シート設置数 100箇所200枚 				
区分	拡充				

		防災安全部	県民安全課	事業年度	令和 8年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
16 防災・治安先進県ふくいの実現				事業開始年度	令和7年度
消費者被害防止事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	高齢者だけでなく周囲の関係者に対しても継続的な注意喚起・情報発信を行うことにより、県民の消費者被害の未然防止を図る。				
事業内容	(1) 消費者トラブル防止のための情報発信（情報誌の作成・配布） (2) 悪質商法被害防止キャンペーンの実施				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,926	—	963		963
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	消費生活モニターへ紙面に対するアンケート調査	『良い』以上が70%	『良い』以上が98%	令和7年度
	活動指標	情報誌配布箇所数	550箇所	578箇所	令和7年度
事業評価	<p>情報誌を発行し、県民に対して消費者トラブルへの注意喚起を行った。また、悪質商法被害防止キャンペーンにおいて、街頭での啓発活動や注意を促すポスター等の掲示を実施し、県民の被害防止意識の向上を図るなどにより、成果指標の目標を達成した。</p> <p><事業実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報誌発行回数 年6回 20,000部/回 ・悪質商法防止キャンペーン ポスター掲示 1,000ヶ所 				
区分	縮減				

		防災安全部	県民安全課	事業年度	令和 8年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
16 防災・治安先進県ふくいの実現				事業開始年度	令和7年度
消費生活相談体制の充実・強化事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	相談員の資質・能力の向上および弁護士等の専門家への相談窓口の整備により、相談体制の充実・強化を図る。				
事業内容	(1) 消費生活相談員スキルアップ研修会の開催 ・県相談員、市相談員、市町行政職員を対象とした研修会を開催 (2) 専門家への電話相談体制の整備 ・相談員（県・市町）から弁護士・ECネットワークアドバイザーへの相談体制を整備				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,009	—	100		1,909
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	専門家相談会での相談件数	100件	113件 (R7.12月末時点)	令和7年度
	活動指標	専門家相談会開催数	28回	28回（見込）	令和7年度
事業評価	消費生活相談員を対象としたスキルアップ研修会を実施し、近年複雑化・多様化する消費者トラブルに対応するための専門知識の向上を図った。あわせて、県民および相談員が弁護士等の専門家へ相談できる体制を整備し、専門的な事案への対応力を強化した。成果指標は目標を達成した。 <事業実績> ・消費生活相談員スキルアップ研修開催数 4回				
区分	縮減				

		防災安全部	県民安全課	事業年度	令和8年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
16 防災・治安先進県ふくいの実現				事業開始年度	令和7年度
㊦ 消費者教育推進事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	合理的な意思決定ができ被害に遭わない消費者の育成のため、若者や高齢者など様々な年代に対し、それぞれのライフステージや生活スタイルに合わせた消費者教育を行うとともに、効率的・効果的に学習する機会を提供することにより、次世代の消費者教育の担い手となる新たな人材を育成する。				
事業内容	(1) 消費生活講座の開催 (2) 消費者総合フォーラムの開催 (3) 若者の消費者トラブル啓発動画・シナリオコンテストの開催				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	6,093	—	2,675		3,418
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	消費生活セミナー受講者数	290人	478人	令和7年度
	活動指標	消費生活セミナー開催数	7回	7回	令和7年度
事業評価	消費生活セミナーを実施し、参加者に対して金融経済、生活設計、悪質商法等に関する知識の習得を促すことで、県民の消費者意識の向上を図った。また、消費者総合フォーラムを開催等、悪質商法やエシカル消費等への関心を高める機会を提供することで、県民が日常の消費行動において主体的に実践する環境づくりを推進し、成果指標の目標を達成した。 <事業実績> ・消費者総合フォーラム参加者数 370人				
区分	拡充				

		防災安全部	県民安全課	事業年度	令和8年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
16 防災・治安先進県ふくいの実現				事業開始年度	令和7年度
⑧ 環境や社会に配慮した消費行動・生産活動の促進事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	消費者と事業者双方の「エシカル消費」についての認知度・関心を高め、日常における行動実践につながるよう広く普及啓発を図り、環境や社会に配慮した消費行動・生産活動の促進に取り組む。				
事業内容	(1) ふくいおもいやり消費応援団の登録拡大 (2) SNSを活用したエシカル消費認知度向上キャンペーン (3) 消費者と事業所をつなぐエシカルマルシェの開催				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,365	—	1,182		1,183
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	エシカル消費の理解度	70%	78%	令和7年度
	活動指標	おもいやり消費応援団の新規登録数	100店舗	182店舗	令和7年度
事業評価	<p>「ふくいおもいやり消費応援団」を募集し、エシカル消費を呼びかける登録事業所の拡大を図った。また、エシカルキャンペーンを実施し、「ふくいおもいやり消費応援団」に登録している事業所や具体的なエシカル消費行動の周知を図ることで、県民のエシカル消費への理解と実践の促進につなげ、成果指標の目標を達成した。</p> <p><事業実績></p> <ul style="list-style-type: none"> エシカル消費認知度向上キャンペーン参加者数 384人 				
区分	拡充				

		防災安全部	県民安全課	事業年度	令和8年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
16 防災・治安先進県ふくいの実現				事業開始年度	平成21年度
消費者行政活性化補助金				事業終了年度	令和8年度
事業目的	表示・取引・安全などの消費者をめぐる様々な問題に対応するため、地方消費者行政強化交付金を活用し、市町が行う消費者相談体制の充実や啓発への取組みを支援する。				
事業内容	地方消費者行政強化交付金に定める支援メニューに基づいた事業に対して補助金を交付 （1）地方消費者行政機能維持事業 （2）地方消費者行政機能強化事業				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	16,860	—	16,860		
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	—	—	—	—
	活動指標	—	—	—	—
事業評価	交付金を通じた市町の相談体制と啓発活動の強化により、県民が身近な地域で適切な相談支援を受けられる環境の維持・向上を目指す。 <成果指標の目標を設定できない理由> 本事業は、消費者庁が交付する「地方消費者行政強化交付金」を活用した市町への間接補助事業であるため。				
区分	継続				

		防災安全部	県民安全課	事業年度	令和7年度
4 安心を高める（地域力）				経費区分	政策的経費
16 防災・治安先進県ふくいの実現				事業開始年度	令和7年度
青少年愛護条例改正に伴う啓発事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	「福井県青少年愛護条例」を改正し、未就学児の保護や、家出青少年等の早期発見と保護および健全育成の強化を図ることから、県内の関係各機関・事業所に対して改正条例の周知、解説を行う。				
事業内容	(1) 県民に対し、リーフレットにて周知を実施 (2) 関係事業者（興行場、接待飲食業、カラオケ等）に対し、リーフレットにて周知 (3) 条例解説書冊子の配布 配布先：警察（本部および警察署）、裁判所、検察庁等				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,019	—			1,019
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	—	—	—	—
	活動指標	啓発対象者数	38,021人	43,021人	令和7年度
事業評価	<p>条例改正に関する事業者や、保護の対象となった未就学児の保護者をはじめとする県民にリーフレットを配布して啓発することで、活動指標の目標を達成した。また、警察、裁判所、検察庁等に条例解説書冊子を配布したほか、リーフレットに加えて各会報誌等も活用し、県全体への周知を目指した。</p> <p><成果指標の目標を設定できない理由> 改正の影響が多岐にわたるため、成果指標の設定は困難</p> <p><事業実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット配布者数 保育施設の保護者及び関係者 42,013人 関係事業者（接待飲食店、書店等） 1,008人 ・条例解説書冊子配布数 240冊 				
区分	完了				

		防災安全部	県民安全課	事業年度	令和7年度
4 安心を高める（地域力）				経費区分	政策的経費
16 防災・治安先進県ふくいの実現				事業開始年度	令和5年度
家族で学ぶインターネットの安全活用推進事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	家庭でのネットの活用方法やルールを、動画制作やインターネットへの配信を通して親子で学び、安全なネット活用の実践を目指す。また、子どもと保護者が共に学び、動画制作を体験することによりコミュニケーションを活性化し、ネット利用適正化のための親子関係づくりを促進する。				
事業内容	(1) インターネット安全活用に関するイベントの開催 ・ ネットを安全に活用するためのポイントを親子で学ぶ参加型講習会を実施 (2) ネット上の非行・被害を防ぐため、学生・児童向けにメールマガジンを配信				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	595	—			595
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	児童のネット被害件数	5件	13件	令和7年（暦年）
	活動指標	体験イベントへの参加親子人数	300人	1,529人	令和7年度
事業評価	ネットを安全に活用するポイントを家族で学ぶ講座を通じ、ネットの危険性への理解や、家庭での話し合い・ルール作りを促進した。 <成果指標の目標未達成における事業による要因> 体験イベントへの参加親子人数は目標を大幅に超えたものの、県全体への周知・行動変容につながらなかったため。 <成果指標の目標未達成における外的要因> スマホ普及とSNSや若者層向けアプリ、オンラインゲームの低年齢化により、インターネットを通じた被害に遭うリスクが以前よりも高まっているため。 <事業実績> ・ 親子で学ぶネット安全教室 開催回数 3回 ・ 出前講座 開催回数 6回				
区分	整理統合				

		防災安全部	県民安全課	事業年度	令和7年度
4 安心を高める(地域力)				経費区分	政策的経費
16 防災・治安先進県ふくいの実現				事業開始年度	令和7年度
交通安全意識向上強化事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	ターゲットごとに訴求力のある広報手段を用いて、県民安全課および県警察にて行っているシーズンごとの課題に応じた運動に連動させて行うことにより、県民に交通ルールに対する関心を持たせ、交通安全への意識の底上げを図る。				
事業内容	(1) ターゲットごとに訴求力のある広報手段を用いて交通安全クイズを実施 ・はぴコインを活用することでより多くの県民に参加を促し、交通ルールの周知徹底および県民の交通ルールに対する意識向上を促進				
予算・決算額 (単位:千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,588	—	1,736		1,852
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	交通死亡事故死者数	25人以下	21人	令和7年(暦年)
	活動指標	交通安全クイズ回答者数	10,000人	15,902人	令和7年度
事業評価	交通死亡事故に関連することが多い高齢者や、自転車事故の当事者となりやすい学生等、注意を促すべきターゲットごとに効果的な媒体を活用して交通安全クイズを実施することで、県民に対し交通安全意識の向上を促した。その結果、交通死亡事故死者数を21人(前年比△2人)に抑え、成果指標の目標を達成した。 <事業実績> ・交通安全クイズ実施回数 7回(6月~12月)				
区分	廃止				